

学会員の皆様へ

この度、第36回 日本小児循環動態研究会学術集会を2016年10月21日（金）～10月22日（土）に金沢医科大学医学教育棟にて開催させていただくことになりました。

日本小児循環動態研究会は「発達途上および小児期発症心疾患の心機能および血行動態に関する最新の情報を交換し、会員相互の知識向上を計ることによって、広くこの分野の発展に寄与すること」を目的として発足しました。本研究会の第1回は1981年2月1日に開催された“小児心機能血行動態談話会-東京女子医大”までさかのぼり、約35年の歴史をもつ伝統のある研究会です。これまで、小児心臓病のみならず、小児疾患における循環動態を心臓カテーテル検査、心エコー検査、心臓MRI検査などを用いて評価する発表が多くなされてきました。その多くは、単なる循環動態評価にとどまらず、それらの評価から薬剤の有効性、先天性心疾患術式による影響、手術時期の検討、治療方針の決定など、臨床的意義のある発信がなされています。さらに、本研究会の討論は、毎回熱い議論がなされ、これからの小児循環器医療を支える若手医師の登竜門的な場となっています。

第36回 日本小児循環動態研究会学術集会のメインテーマは「QOL改善のための循環動態」としました。小児循環器医療の目覚ましい発達により多くの先天性心疾患児の救命率が向上しました。それと同時に、私たち臨床医は、彼らの良好なQOLを担保しなければいけません。先天性心疾患児にとって、良好なQOLは、良好な循環動態が必要不可欠です。本研究会で「QOL改善のための循環動態」のセッションを設けて、しっかりと議論していきたいと考えております。

特別講演、教育講演は、富山大学循環器内科主任教授絹川弘一郎先生、元大阪母子医療センター院長岸本英文先生、金沢医科大学胸部外科教授秋田利明先生にお願い致しました。

金沢医科大学は、石川県能登の入り口になる内灘という場所にあります。金沢駅から車で30分程度の場所で、送迎バス等の準備もしております。本研究会の運営は身にあまる重責ではございますが、誠心誠意全力で最善を尽くして参りますので、何とぞご支援とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中村常之

金沢医科大学 小児循環器内科

科長

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

076-286-3511（代表）

演題募集期間 2016年7月20日(水)～8月22日(月)

演題募集は右記 mail address まで p-tune@kanazawa-med.ac.jp

「演題名」「演者氏名および所属」「共同演者」「本文(400字以内)」を記載してください。受領確認は E-mail で返信いたします。なお1週間以上事務局より受領確認がない場合は、事務局までご連絡ください。

主催事務局

金沢医科大学小児科医局内

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1 電話 076-286-3511 (代表)